

● ハンドル/ステップ

ハンドルはそれぞれのコンセプトに合わせて、「CBR650F」ではセパレートタイプを採用し、「CB650F」はバーハンドルのアップタイプを採用しています。

また、ブレーキレバーには、6段階アジャストタイプを採用し、ライダーの好みに合わせた調整を可能としています。

ステップやペダルは、操作感の向上とスタイリングに配慮しながら、足着き性の良い位置を設定しました。



CBR650F



CB650F

● シート

シートは、居住性を確保しながら、適度な硬さとスリムな形状により、ライダーやパッセンジャーの動きを妨げず、軽快なライディングに貢献する機能的な仕様としました。また、シート高はCBR650F、CB650Fともに同クラスモデルに対し比較的高い810mmとしながらも、幅のある直列4気筒エンジンを車体前方に搭載し、シート前部の幅をできるかぎり抑えることで、多くのライダーに対応できる良好な足着き性を有しながら、高い視点ならでの、より広い視界を確保しています。

さらに、この高い視点ならでの広い視界と、同クラスモデルに対するコンパクトな車体により、Uターンなどの低速走行をより容易にしました。



● フューエルタンク

フューエルタンクは、人車一体感を追求し前後長を短くした個性的なタンク形状としながらも、17Lのタンク容量を確保しました。さらに、後部のヒンジによりタンク前方を持ち上げることができ、フューエルタンクを取り外さずに吸気系など、エンジンヘッド付近のメンテナンスを容易に行えるようにしました。フューエルキャップはウエーブキーを採用し、セキュリティ面を向上させました。

